

ごみ問題を考えよう

ねらい・目的



自分の消費行動とごみ問題について関心をもつ。
ごみを減らす生活の仕方を工夫し、毎日の生活で実践していく。

取り組みの背景として



家庭から出るごみは、あまり減っていません。

このままだと

ごみを処理するために多くのエネルギーと費用を使ううえ、市のごみ埋立地の
残余年数も十数年程度と予測されています。

だから

一人一人がライフスタイルを考え、ごみを減らす工夫をしておくことが必要です。

取り組み項目(実施方法)



- ・ごみの種類や処理の仕方を知る。
- ・リサイクルの方法について理解を深める。

取り組み1 我が家のごみ調べ

ポイント

- ・1週間で出るごみの種類と量を調べて、それらはどのように処理されているのかを調べてくる。

1 あなたの家では、1週間にどのくらいのごみが出るのだろうか。調べて記入し、感想もまとめよう。

① 生ごみ	
② プラスチックのごみ	
③ 紙類	
④ 缶やびん	
⑤ ペットボトル	

2 あなたの地域では、ごみの分別収集はどのようになっているだろうか。次にまとめよう。

ごみの種類	ごみの内容や出し方	収集場所	収集日
① 可燃ごみ			
② 不燃ごみ			
③ 缶			
④ びん			
⑤ 紙類			
⑥ ペットボトル			
⑦ 発泡スチロールのトレイ			
⑧ ()			

3 あなたやあなたの家族は、ごみを減らしたり環境に配慮するためにどんな工夫をしていますか。

我が家のごみの現状を知る。

取り組み2

ごみ問題について札幌市の取り組みについて知ろう

ポイント

- ・出前講座「ごみの減量とリサイクル」で札幌市環境局のごみ減量推進課の方にお話をしてもらい、疑問に思っていることを質問しよう。
- ・実際にごみ処理施設やリサイクルを行っている施設を訪問してみよう。



訪問施設例

- ・白石清掃工場（白石区東米里）
- ・リサイクル団地（東区中沼）
- ・鈴木商会発寒リサイクル工場（西区発寒）
- ・環境プラザ（北区）

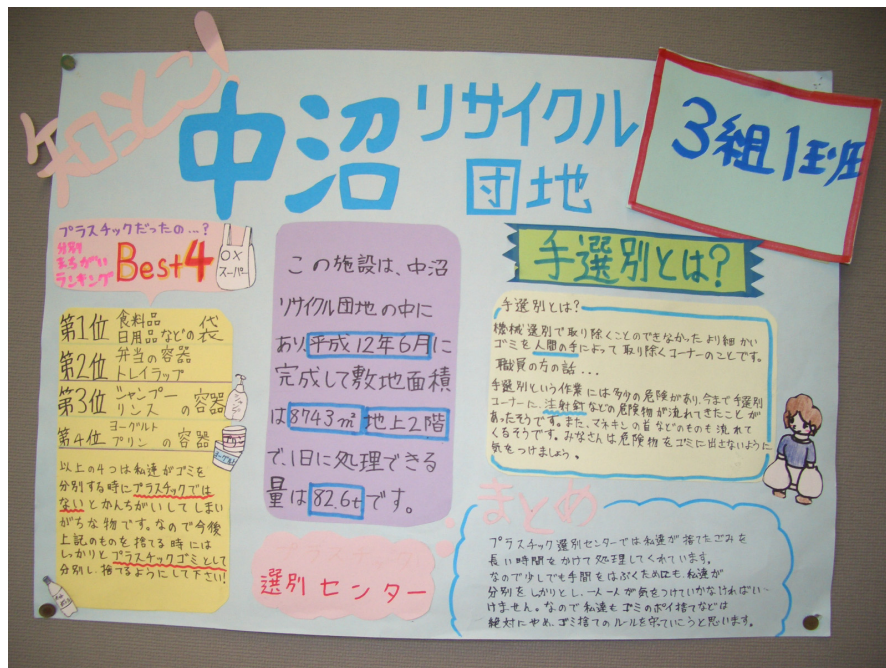
ごみを減らすための工夫が分かる。

取り組み3

テーマを決めて班に分かれて取り組もう

ポイント

- ・班ごとにテーマを決めて、さらに調べ学習を深めていく。
- ・分かったことや伝えたいことを各班で1枚のレポートにまとめよう。
- ・レポート発表会で自分たちの考えを発表しよう。（学級発表会）



友達の考えや意見を聞こう。

取り組み効果



効果 1 ごみの分類や処理方法が分かる

自分たちの生活から出るごみを正しく分類し、その処理過程を理解する。

- ※ 技術・家庭科（消費生活と環境） 保健体育科（ごみの処理）
社会科（公民・ごみ問題とリサイクル）

効果 2 ごみを減らす方法を考え、生活の中で実践していく

中学生でもできるごみを減らす方法を考え、生活の中で実践していく。

他のプログラムとのつながり



■ラスト5分で学べる環境問題（中学・高校編）

札幌のごみ事情から、世界の食料問題まで社会科の授業の中で広い視野を持って学習する。

■学校祭のごみを減らそう（中学・高校編）

学校祭からでるごみをリユースなどに取り組むことで減らしていく。

■「ごみ」と「資源」の再発見（家庭・地域・職場編）

地域ぐるみで集団資源回収などのごみ減量に取り組み、行動を定着させる。

参考資料等



1

札幌市清掃ホームページ「ごみとリサイクルの知識」

<http://www.city.sapporo.jp/seiso/gomi/chishiki.html>

2

札幌市出前講座（環境・みどり）

<http://www.city.sapporo.jp/somu/demaekoza/theme/theme4.html>

3

株式会社 札幌リサイクル公社

<http://www.sapporo-recycle.co.jp/product/04kanri.html>

4

札幌市白石清掃工場

http://www.city.sapporo.jp/seiso/sikumi/sirosi_kozyo_index.html